

第 191 回 都市懇サロン レポート	「平成 27 年度都市局関係施策の概要について」		
講 師	国土交通省都市局まちづくり推進課官民 連携推進室長中村 健一 氏	開 催 日	平成 27 年 5 月 19 日(火) 18 : 00~20 : 00
講 師 プロフィール	平成 2 年 建設省（当時）入省 平成 22 年 国土交通省都市・地域整 備局街路交通施設課企画専門官 平成 25 年 仙台市都市整備局理兼復 興事業局理事 平成 27 年 1 月から現職		
お話の概要	<p>1 平成 27 年度都市局関係予算概要（主な新規・拡充制度等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①復興と国土強靱化に資する都市の防災・減災、老朽化対策 ②人口減少社会における個性あふれる地域の活性化 ③都市の国際競争協力の強化 <p>2 まちづくりに関する施策</p> <p>2-1 コンパクトシティの形成に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市の現状と課題 ・なぜコンパクトシティか？ ・コンパクトシティをめぐる課題 ・都市再生特別措置法等の改正 ・立地適正化計画のイメージ ・地域公共交通活性化再生法の改正（地域公共交通との連携） ・立地適正化計画制度の意義・役割 ・関係省庁との連携施策例 <p>2-2 最近の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の都市のマネジメント ・大都市戦略の検討 		
意見交換 の概要	<p>1. コンパクトシティにおける医療福祉等との連携施策について ⇒自治体において何を目標・重点施策するかによるが、国は国交省と厚労省が連携し取り組んでいく体制と支援を整えてきている。</p> <p>2. 内閣府の“まち・ひと・しごと創生”とコンパクトシティの関係性について ⇒現在、まち・ひと・しごと創生のなかでコンパクトシティは何ができるか検討中である。</p> <p>3. 広域連携型コンパクトシティについて ⇒立地適正化計画＝市町村マスタープランになるため、内容は都市計画区域にこだわらず連携可能、計画は別になるかもしれない。事例がないので相談して欲しい。</p> <p>4. 立地適正化計画と公共施設等総合管理計画との関係性について ⇒総合管理計画の具体策として、適正化と整合を図っていくことが考えられる。</p>		
記 録 者 の ひ と こ と	<p>コンパクトシティの形成は、課題を発掘する収集・分析力、解決に向けた関係各課との調整力・提案力、時間をかけたマネジメントの取り組みなど行政とコンサルタントの能力が期待されるプロジェクト。 <<都市懇サロン運営部会 委員 菊地建生>></p>		

